

教職員の不祥事防止に向けた 新たな研修プログラム

第2回 一体的な不祥事防止対策の理解

岡山県教育委員会

新たな研修プログラムの構成と研修について

ステップ1 不祥事の類型化による当事者意識の醸成

不祥事を原因別に類型化し、その視点からアプローチすることで、身近なものとして捉え、自己を振り返り、特性への気付き、行動の見つめ直しの契機とする。

第1回

ステップ2 一体的な不祥事防止対策の理解

行為別と原因別の複数の類型から不祥事を立体的に捉え、有効な対処法を考察するとともに、不祥事防止対策の一体的な取組プロセスを理解する。

今日の研修は
ここです

- 一体的な不祥事防止対策
 - ・ 1次予防（未然防止）
 - ・ 2次予防（変化の兆候への気付き・早期対処）
 - ・ 3次予防（再発防止）



ステップ3 事例研究による対処法の習得

具体的な事例を、グループ協議やロールプレイング等を通して研究し、不祥事への認識を深め、具体的な対処法を身に付ける。

順次
配付
予定

岡山県教育委員会

行為別と原因別による重層的な理解

原因別 行為別	具体的事案	学習 不足 型	自己 中心 型	確信犯 型	合理化 型	衝動 型	飲酒の 影響
わいせつ事案	・生徒への対処法がよく分からないうちに関係がエスカレートした。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	・自分は特別に認められているという過信から関係がエスカレートした。	<input type="radio"/>		→ <input type="radio"/>			
	・画像を集めるくらいでは捕まらないとの思い込みから繰り返し行った。	<input type="radio"/>		→ <input type="radio"/>			
飲酒関連事案 (飲酒運転)	・飲酒後、6時間就寝したので大丈夫という認識があった。	<input type="radio"/>					
	・短い距離、短い時間だから大丈夫という認識があった。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>

岡山県教育委員会

行為別と原因別による重層的な理解

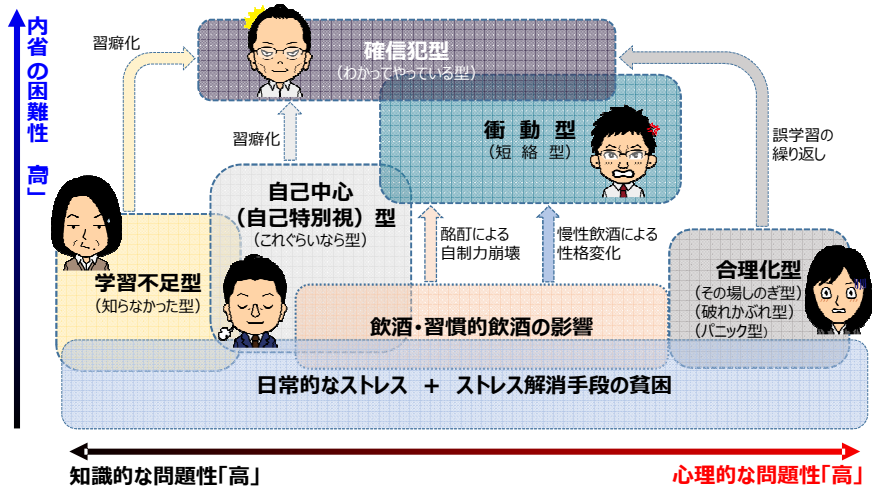
原因別 行為別	具体的事案	学習 不足 型	自己 中心 型	確信犯 型	合理化 型	衝動 型	飲酒の 影響
体罰	・普段から継続的に行っていたが、あるときに大ごとになった。		<input type="radio"/>	→ <input type="radio"/>			
	・生徒の暴言に対し、衝動的に殴った。					<input type="radio"/>	
交通事故	・二輪車とぶつかったが、		<input type="radio"/>				
	→その際に一旦停止を怠っていた。						
	→相手が大丈夫と言ったので立ち去った。	<input type="radio"/>					
	→怖くなって逃げた。				<input type="radio"/>		
情報関連事案 (USB紛失)	・ルール等が周知できておらず、自分もよく理解していなかった。	<input type="radio"/>					
	・持ち帰りはみんなもやっているし、自分も大丈夫だという認識の甘さがあった。		<input type="radio"/>				

行為別では同じ分類の不祥事であっても、その原因に応じて対処法を変えることが有効

岡山県教育委員会

原因別の各類型の関係と重篤化のプロセス

原因の特性や関係性を踏まえた対応が求められる



岡山県教育委員会

一体的な不祥事防止対策の必要性

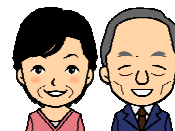
1次予防 (未然防止)

- 研修が中心となる部分、自覚の向上、環境の整備 など
- ・ ロールプレイング等による体験的な研修、被害者や加害者の手記等の活用
 - ・ 学校現場の特性の理解 (高リスクな環境)
 - ・ 発覚リスクの認知 (エスカレート → 発覚リスクの上昇 → 必ず発覚)
 - ・ 校内環境の整備 (密室となり得る要因の除去等)
 - ・ 校内ルールの子童生徒・保護者への周知、子童生徒の相談窓口の設置
 - ・ 自分自身にも、自分の周りの人にも関心を持つ など



2次予防 (変化の兆候への気付き、早期対処)

- 個別的な関わり (周囲が気付く)、組織的な関わり (定期的な確認等) など
- ・ 管理職や同僚の気付き、管理職への迅速な報告 (仲間を守るという意識)
 - ・ 校内ルールの徹底・確認 (定期・不定期に)
 - ・ 類似事例やヒヤリ・ハット事例の共有 (事前の対策へ) など



3次予防 (再発防止)

当事者へのフォローアップ

原因に応じた効果的な対策を、一体的に働かせていくことが必要

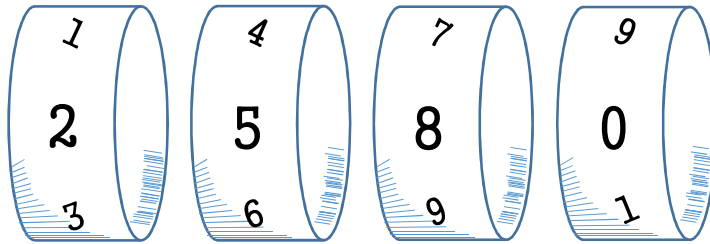
岡山県教育委員会



鍵が開いてしまうとき

～防止という観点から見た不祥事発生メカニズム～

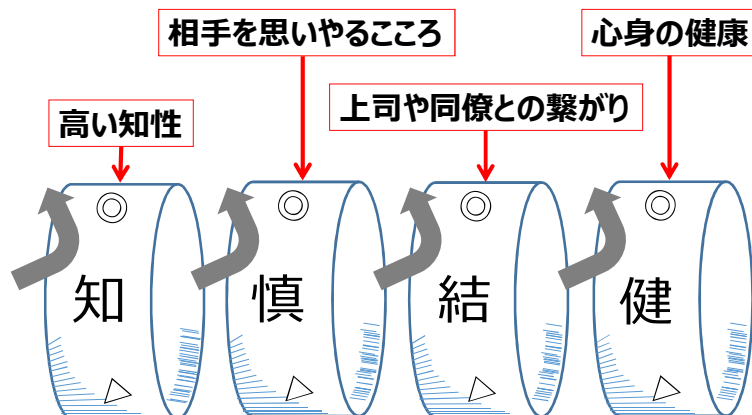
- **4ケタの自転車の鍵**
「1万分の1の確率でしか開かない」とも理解できるが、「10分の1の確率でしか開かない鍵が四つ並んだ4重の防御システム」とも理解できる
- **航空機や列車の安全運行**
多重のフェイルセーフシステム
- **人間の身体**
危機時には多重のシステムが発動する（免疫系・交感神経系・甲状腺機能系）



“4重の防御システム”

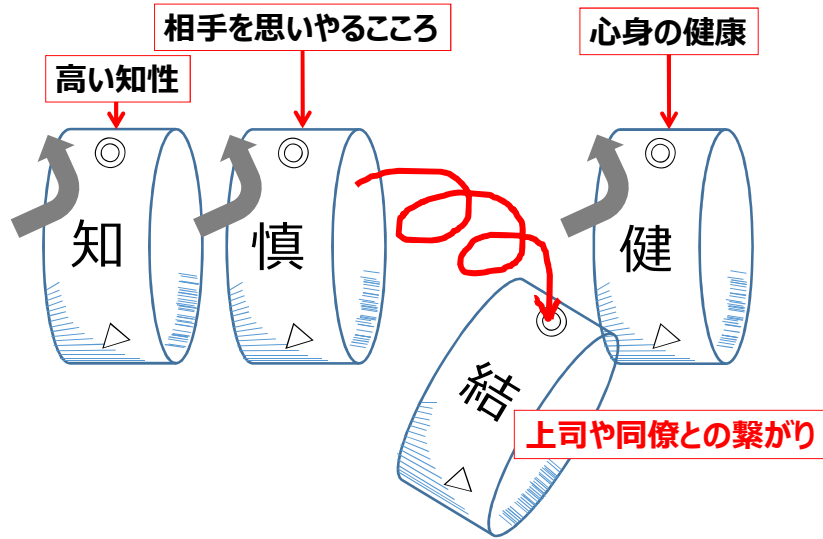
岡山県教育委員会

4重の安全装置



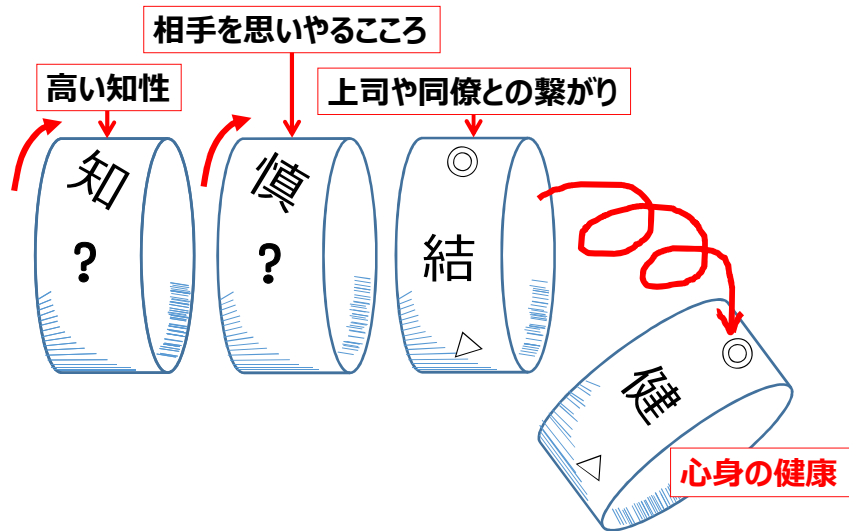
岡山県教育委員会

「鍵が一つ」外れたら…



岡山県教育委員会

「心身の健康」を損なうと…



岡山県教育委員会

自分自身を振り返ってみましょう

Q1. 今回の不祥事防止研修を受講して、どのようなことが分かりましたか。又は、どのような気づきなどがありましたか。

Q2. 今後の不祥事防止研修については、どんなことに留意して受講していきたいと思えますか。

岡山県教育委員会

*** 作成協力 ***

岡山県教職員不祥事防止対策チームアドバイザー

塚本 千秋（岡山大学大学院教育学研究科 教授）

平 伸二（福山大学人間文化学部 学部長・教授）

資料提供

田口 真二（熊本県警察本部刑事部科学捜査研究所管理官）

参考資料

E・ゼーリッヒ、K・ワインダー（共著）『犯罪者の類型』（1949）

岡山県教育委員会

このシートは自己の気づきや振り返りに用いるものであり、受講者同士で交換したり、所属長やコンプライアンス推進員に提出したりするものではありませんので、自分の気持ちを率直に記入してください。なお、所属の実情に応じて、研修内容に関するグループ協議（意見交換）を行うことがあります。

- 1 今回の不祥事防止研修を受講して、どのようなことが分かりましたか、又は、どのような気づきなどがありましたか。

- 2 今後の不祥事防止研修については、どんなことに留意して受講していきたいと思いませんか。